

## Show Rotary Cares ロータリーの心を

あなたの住むところ  
私たちの世界  
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区——久保田 昭 治  
ガバナー——五十嵐 総 一  
会 長——細 井 増 雄  
会長エレクト——長谷川 有 美  
副 会 長——佐 野 勝 栄  
幹 事——西 山 徳 厚  
副 幹 事——山 浦 日出夫  
S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30～  
例会場及び——三条市旭町2-5-10  
事 務 局——三条信用金庫本店内  
例 会 場——TEL 35-3311  
事 務 局——TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	79名中 44名
先々週出席率	88.89%

### ビジター

三条南より 飯山勝義さん  
三条北より 高橋彰雄さん

### 先週のメイクアップ

12/4 見附へ  
榎本勝さん、佐久間勝敏さん  
12/4 ローターアクトへ  
五十嵐総一さん、佐野勝栄さん、  
丸山行彦さん、小柳直人さん、  
佐藤吉平さん  
12/8 三条南へ  
古沢富雄さん、藤田紘一さん、  
長谷川有美さん、渋谷正一さん  
12/9 三条北へ  
外山雅也さん、渋谷健一さん

## 会長挨拶

### 五十嵐総一会長

みなさんこんにちは。今日は南クラブから飯山さん、北クラブから高橋さんようこそおいで下さいました。ごゆっくりしてって下さい。

天候も荒れてくると出席率が低下してきます。年末も影響しているのでしょうか。今日は恥ずかしいながら44名の出席です。

今年も、あと残すところ、17日と24日です。24日はクリスマスの例会です。委員会共々クリスマスで行事が色々重なっております。

先日の4日に長久の家でローターアクト主催の「餅つき大会」がありました。青少年委員会の方々と一緒に参加いたしました。宮尾会員のすばらしい餅つきのスタイル、腰のはいった力強い杵さばきに皆さん感激していました。今度ぜひ公開していただき、餅つき例会をしたいと思えます。

12日は「クリスマス親子の集い」があります。17日は「いからしの里のクリスマス」です。社会奉仕委員会の方々、渡辺宏策会員のサンタクロース姿で参加をしようと思っています。

私の任期も残すところ半年になろうとしています。年末にかけて色々行事があります。忙しいと思いますが健康に留意されて例会に出席されますようお願いを致し、挨拶とします。

## 幹事報告

### 佐野勝栄幹事

◎第2560地区青少年交換委員長より  
一年交換学生ホストクラブ国際奉仕委員長、カウンセラー合同会議のご案内がとどいております。

と き 1998年1月18日(日)

AM11:00~

ところ 新潟ワシントンホテル

◎三条クリーン協議会より  
第4回担当者会議開催のご案内がとどいております。

と き 12月17日(木)

PM6:30~

ところ 三条ロイヤルホテル

## 新入会員紹介



### 成澤敏明

(株)日本旅行燕三条支店支店長

昭和27年4月19日

家族構成：妻、二男、父

趣味：ツーリング

## ニコニコBOX



### 五十嵐総一さん

成澤さんの入会を歓迎致して。

### 佐野勝栄さん

新会員成澤さんを歓迎して。

### 成澤敏明さん

本日入会させて頂きました。よろしく  
お願い致します。

### 中村和彦さん

家族でアメリカへ旅行に行って来まし  
た。グランドキャニオンには自然の大  
きさを「まじまじ」と感じさせられま  
した。

### 岡田正之さん

先日名古屋で姪の結婚式に出席、道中、  
富士山の冠雪した全体を見て家内と感  
動しました。

### 三堀正純さん

BSN愛のチャリティー募金のオーク  
ションでは、松谷さん、高波さん、高  
橋さんから商品のご提供を頂き、誠に  
ありがとうございました。お陰様で79,  
800円の売上げとなりました。

### 榎本 勝さん

可愛い孫のオタフク風邪が治り、昨  
日より又元気で保育所に通っています。  
お互いに風邪をひかないよう要注意。

### 佐藤 武さん

下手な卓話で申し訳ございません。し  
ばらくご辛抱して下さい。

### 松縄 弘さん

佐藤さんの卓話を楽しみにお聞きしま  
す。

### 橋 直樹さん

サラリーマンの楽しみの1つボーナス  
ができました。

### 高森章仁さん

4月に就職した長女が初めてボーナス  
らしいボーナスをもらった様です。

### 山浦日出夫さん

良い年末になりますように願いを込め  
て。

### 宮尾栄一さん

所用の為、早退させていただきます。

### 船越正夫さん

都合で早退させていただきます。

12月10日分 ￥20,000

今年度累計 ￥488,000



## 卓 話

佐藤 武会員



プログラム委員の佐藤でございます。趣味の話をしていただきます。20数年前、歯周病の勉強にアメリカへ行きまして、大変高名な先生から指導をうけました。歯周病の重要さは日本はだいぶ遅れているなと思い、それから頑張って5回位行き勉強しました。

その当時、今は違うかも知れませんが自殺者が多かったのです。私はアメリカは宗教上の関係で自殺する人なんていないと思っていました。その中で一番率の高い自殺者の職業は歯医者だそうです。指導の雑談の中で大変ストレスのかかる職業だからストレスを解消するようにならなければならない。

「趣味をもちなさい。趣味をもっていますか？」と名指しでポンポンと言われました。しかしその時は趣味がなかったため、頭を掻いていましたが、アメリカでは頭を掻くことはおかしい動作なので。

そこで、「動的な趣味」と「静的な趣味」をもって下さいと言われました。動的というのは体を動かして汗をかくこと、静的というのは脳に汗をかかすという二つのストレスの発散法、全身のストレス発散になります。

若かった頃、硬式テニスをやろうと思いい、その頃三条には硬式テニスをやっている人がいない、ということはコートがない。テニスというのは女の子が短いスカートでチラチラ……いいなと思いコートを作ってテニスをはじめました。やってみるととてもハードです。右手が左手に比べ大分太くなる、その位までテニスを続けました。

足が衰えまして、今はゴルフに転向しています。2・3年前から毎朝球を打つことにしています。皆さん、木曜・日曜・祭日によかったら誘ってください。今は、動的な方はゴルフ、静的な方は碁をやっています。

今日は碁の話をして頂きます。碁をやっていると親の死に目に逢えないとか色々な批判があると思いますが、碁の本を開いてみると歴史があるのです。碁というのは色々な呼び名があります。囲碁、本碁、碁、棋道、爛柯（らんか）、烏鷺（うろ）、橋中の楽（きっちゅうのたのしみ）、手談。

この中で爛柯（らんか）というのは晋の時代、きこりが山へ木を切りに行き仙人が碁を打っている所を観て、あまりにも面白いので時の経つのも忘れ斧の柯

がくさってしまった。日本の浦島太郎のような話です。

烏鷺（うろ）とは、烏（カラス）の羽の色は黒、鷺の羽の色は白、黒石と白石で勝敗を争う意味の囲碁の異称です。

橋中の楽（きっちゅうのたのしみ）橋とはみかん、昔はみかんが貴重でおいしかったそうです。ミカンを食べるに相当する例えです。

手談とは言葉を交わさなくても碁を打つことで互いの意が通じ合うこと。碁石を打った場所によって相手が何を言わんとしているのかを知る楽しみがあります。

囲碁が日本に渡来したのは735年、奈良時代の学者で政治家の吉備真備（きびのまきび）が唐から持ち帰ったのが初めてであるとありますが、これは定説ではありません。囲碁のルーツには諸説がありますが、どれも考古学的、学術的根拠に基づいているとはいえず、しいてルーツを求めるとすると、原始的な碁盤と碁石が易や天文地象を占う道具として登場する紀元前2000年頃と思われます。

中国古代の天子堯帝が占いを大成させたいという伝説があり、「堯・舜囲碁創造説」の一つの根拠ともなっています。碁盤には、今は縦横に19本の線が引いてあります。その真ん中に点があり、他に8ヶ所に点があります。真ん中の点を天元といいます。それを太極になぞらえ、さらに4分割して春夏秋冬をかたどり縦横19道、合計361路は太陽が天を周る日数を示し、白と黒の碁石は陽（昼）陰

（夜）を意味するといふのです。

現在「こんな面白く奥が深いゲームは神が作ったとしか思えない。」とも言われていますが、根拠を求めていくと神話時代の天文学や帝王学にまでさかのぼるそうです。ちなみに碁石が入っている「碁笥」がありますが、黒石が181個、白石が180個入っています。白石はハマグリからできており、日本ではハマグリの良いものが採れないのでメキシコからのものが多いそうです。

最初の考古学的史料としては中国の殷の代（紀元前1600年～1100年）に初めて「碁」という碁の碁という文字が登場しています。甲骨文字の中でたった一文字証拠がありました。続いてやはり碁を意味する「弈（エキ）」が金石文字の中にもありますが孔子の論議の中の一節が有名です。『腹いっぱい食べて頭を働かせることもなく日を過ごすより「博弈（ハクエキ）」でもしているのがなお増した』ということです。ハクエキとは碁のことです。

また、碁盤と碁石が古来より戦略と戦術のシュミレーションの道具としてもてはやされていたことは史実に多くあります。多くの武将や僧侶が碁を楽しみました。信長が明智光秀に倒された本能寺の変の時の話です。信長の前で算砂という僧侶ともうひとりの僧侶がいわゆる御前試合をしました。碁をやっている方はわかることですが、劫というのが有ります。一つ石を置くと相手の一目を採れる。相

手も採られた場所に石を置くと取返せせる、という石の配置状況をいいます。ただし、一手後でなければ石を取返すことが出来ないルールになっています。試合では劫が出来ることは珍しくないのですが、一つの試合で三劫が出来ることは非常に希です。三劫が出来るると不吉な事が起きると言われています。

その試合では三劫が出来ました。試合を終った二人は信長の前を辞して帰りに「三劫が出来たが不吉なことが起こらなければ良いが」と夜道を歩いていた。その時「ワッー」という声を聞いた。これが本能寺の変だったと書かれています。碁をなさる方はできるだけ三劫を避けられたらと思います。

碁の起源に関しては中国の一発祥説が主流を占めていますが、他にも説があります。

チベット起源説。これは安永一氏の「原始碁のめばえはチベット・ヒマラヤ西域地区の古代文化園の中にあつた。」という説で昭和34年4月、日本を訪れたシッキム王国の皇太子が持参した17道の布製盤の第3線に白と黒を6つつ置き合う「シッキム碁法」の出現を有力な論拠に据えて自説を述べられています。

次に天竺（インド）起源説、約800年前に出来た「今昔物語」に天竺での碁の話がいくつか出ています。又朝鮮の李朝時代の政治家金玉均（きんぎょくきん）は天竺起源説を唱え「朝鮮の碁は昔天竺より直ちに朝鮮に天来し、中国より伝来

したものではない。中国の堯・創始説の前に天竺で発明され中国へ伝来した」としています。出典・論拠は示されていませんが無視すべきでないと思われています。目下のところ中国以外では確固とした起源発祥の記述や出土品が発見されておらず、当面中国発祥説を主流とするところではあります。

日本人が初めて中国と接触をもったのは、記録によると後漢光武帝（こうぶてい）の時代です。古代の日中の交流、日本は倭の国耶馬台国の頃、弥生時代の真只中ですが、もっぱら春耕秋収の時代で高尚な頭脳ゲームをする余裕などあろう筈もありません。

一方朝鮮半島とは3世紀ころ百済から千文字などもたらされ、弥生時代後半には帰化人が続々と渡来してきました。高い知識と高度な技術を持った帰化人の中に碁をする人がいたと考えるのも不思議ではありません。当時の貴族、知識階級の人々が碁の手ほどきを受けていたと思っても自然のことでしょう。

「隋書倭国伝」に倭の国人は碁（碁）、握槊（双六）、樗蒲（博打）を好むとある様に、6世紀末頃の日本ではすでに碁がかなり浸透していたと思われます。

シルクロードの終着点である正倉院の宝物の中にいくつか碁の道具がありますが経路と由緒はあまり知られていません。752年東大寺の大仏開眼供養が行なわれ、程なく碁の道具類も奉納されていますが、それより約100以前に百済の王様から藤

原鎌足に碁の道具類が贈られていることも記録にあります。いずれにしても正倉院の碁の道具類は世界に誇るものであり、日本の碁の原点であると思われまます。日本の正史に碁の文字が初めて出てきたのは「古事記」です。

8世紀に作られた「養老の律令」の中に「僧・尼は音楽、博戯、樗蒲（チョボ）をなすは百日を苦役す。碁、琴は制の限りに非ず」とあります。この頃バクチ類は法律を作ってまで禁止しなければならない程、目に余ったのでしょう。

弘法大師の遺言の中にも「僧尼といえども門弟などの碁・双六全て停止すべし」とあります。

江戸時代の諺の「碁は親の死に目に会えない」と言われるような碁弊害論を共に現代まで影響を残しています。

しかし、碁はいつの時代でも他のバクチ類とは区別され、かつて法令で禁止されたことはありません。

碁を趣味に持とうとお考えの方はおおいに結構だと思います。最近、碁の教室があちらこちらで開かれています。新潟で学校の先生を辞められた方が、ボケ防止の為に碁を習い始めるという方もいらっしゃいます。私も10年位新潟の先生の所に習いに行っています。その中で女性の教室もあり、女性の方もかなりやっています。戦略的に碁がもてはやされていたとき僧侶だけでなく武將は将棋より碁を好んでしていたそうです。戦国時代から江戸時代には、碁が一般庶民まで普及してきました。

碁、将棋と二つのゲームが同じように呼ばれ扱われますが、実は性格が大変異なっております。

将棋は王の駒を目ざして各々特有の力を持った駒を駆使して戦いますが、碁は領地の確保をするゲームです。ここの地域は相手にあげて、あちらの地域を自分が頂くといい巾の広いゲームです。

又、碁笥に入っている石には飛車とか歩の力の差はなく、皆同一の力です。その石が盤上に置かれた位置により力が大変異ります。自分の考えで置いた石が大きな力を持った石になったり、場合によってはマイナスの力の石になったり、将棋とは別の魅力があります。

川柳の中でもおもしろいものがあります。『鼻先に 初段ぶら下げ 友来る』自分では上手になったつもりで意気揚々と対戦しに友達が来たということだと思います。その後『星空に 重き足音 遠ざかり』意気揚々と碁をうちに勝負しに来たのでしょうが鼻っ柱をおられて帰る足音が重かったということでしょう。『龍宮に 碁盤があれば更に延び』碁と将棋は待ったが嫌われますが、この様なことを歌った川柳があります。『泣くような声で三度目 待って呉れ』野球でも三振がありますので三度目の待ったはいけないと思います。最後に私からお願いしたいのですが『老い先の 短かき吾に 勝たせてチョ』という川柳があります。取り留めのない話で皆様の貴重な時間を費やしていただきありがとうございます。

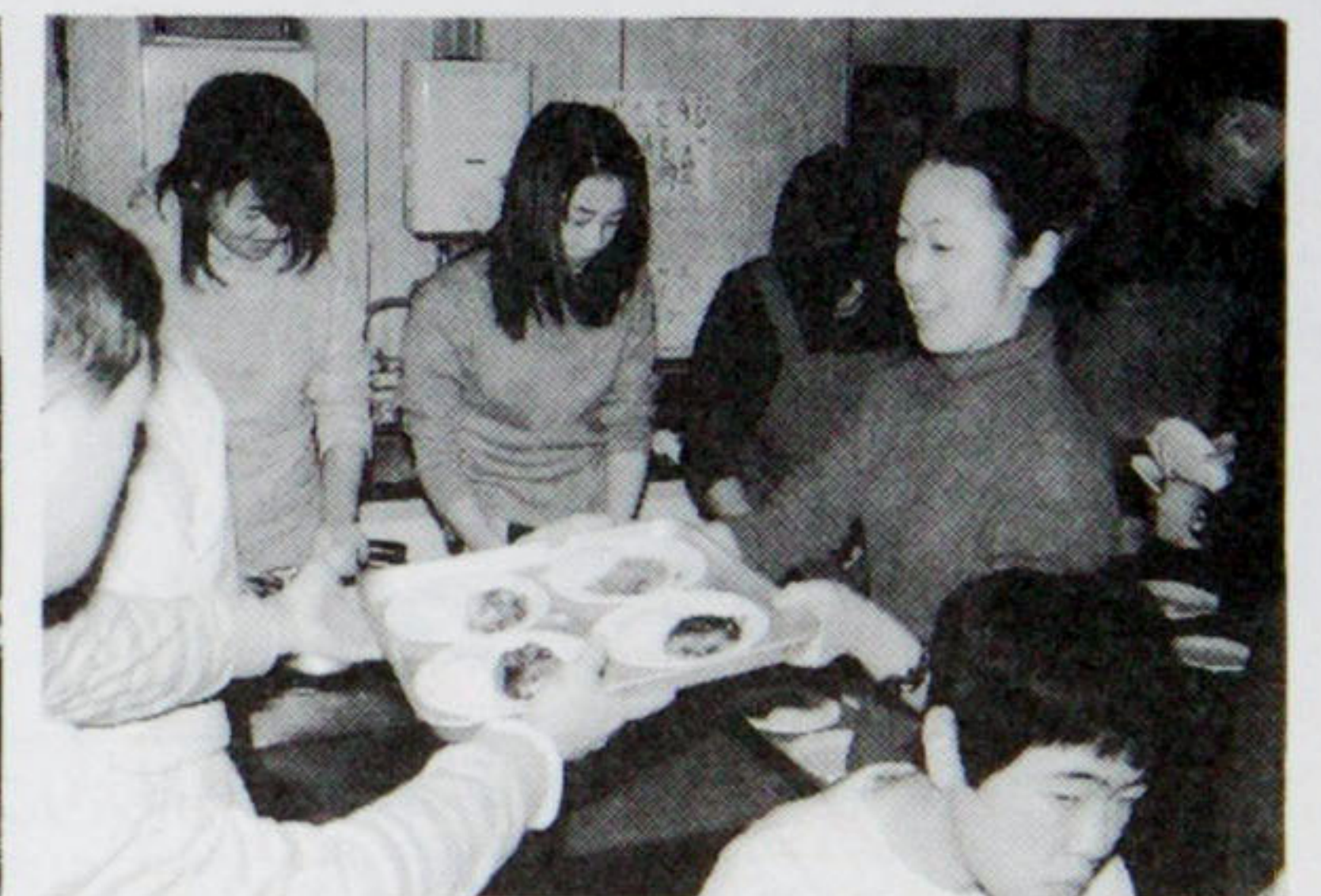
# 長久の家餅つき大会

恒例となりました三条ローターアクト主催の長久の家餅つき大会が12月4日に開催されました。

今年も餅組合3名様のご協力を頂きローターアクト12名、当クラブより五十嵐会長、佐野幹事、青少年奉仕委員4名の参

加でした。

三条ローターアクトは餅つき大会、キックベース大会、ボーリング大会と長久の家の方々とは年三回の交流を行っていますので、すっかり顔なじみで終始笑い声の絶えない餅つき大会でした。



## 例会の出欠報告を

出席率が低下しています。弁当が無駄になっています。月曜日の午前中までに事務局にご一報を。

### 例会案内

三条RC	12月24日例会	夫人同伴クリスマスパーティー	於VIP
	12月31日例会	休会	

#### メイクアップをどうぞ

三条南RC	12月22日例会	夜例会「忘年家族会」	
	12月29日例会	休会	

三条北RC	12月23日例会	休会	
	12月30日例会	休会	

加茂RC	12月25日例会	年次総会	
	1月1日例会	休会	

燕RC	12月25日例会	クラブフォーラム	
	1月1日例会	休会	

見附RC	12月25日例会	クラブフォーラム	
	1月1日例会	休会	